

平成22年度11月補正予算の概要

平成22年11月15日

1 予算規模（一般会計）

補正額 1,092百万円（平成21年度11月補正 9,190百万円）

補正後 344,880百万円（対前年度同期 393,454百万円 △12.3%）

補正前 343,788百万円

財源	国庫支出金	392百万円、	県債	13百万円
	基金繰入金	311百万円		
	一般財源（繰越金）	178百万円	など	

2 主な事業

平成22年産米価格低下緊急融資利子助成事業 1百万円

(H23~25 債務負担行為 9百万円)

夏期の高温による1等米比率の大幅な低下や、在庫量の増加に伴う米の販売価格低下によって資金繰りが悪化した稲作農家に対する新たな緊急融資制度（融資枠6億円）に係る利子助成に要する経費 (生産振興課)

県内企業雇用維持支援事業 制度創設

県内製造業の事業廃止に伴い、新たな事業主が従業員を引き受けて雇用を維持するために行う設備投資に対する補助制度の創設 (産業振興総室[企業立地推進室])

職業訓練事業費 1百万円

(H23~24 債務負担行為 111百万円)

厳しい雇用情勢に対応し、県立高等技術専門校における新規高校卒業未就業者を対象とした訓練について対象者を卒業後3年まで拡充するほか、離職者を対象とした訓練を新年度当初から実施するのに要する経費 (雇用人材総室[労働政策室])

県立学校耐震化推進事業 31百万円

(H22~23 継続費 93百万円)

耐震強度が不足し改築整備が必要な鳥取工業高校の実習棟及び倉吉総合産業高校の管理棟の改築・解体設計等に要する経費 (教育環境課)

医療施設耐震化整備事業 (H23 債務負担行為 80百万円)

中部医師会が運営する三朝温泉病院の耐震化整備にかかる経費について、中部管内市町と協調して助成するのに要する経費 (医療政策課)

鳥取県医療施設耐震化臨時特例基金造成事業	136百万円
平成23年度に予定されている民間医療施設の耐震化工事に要する経費を助成するため、国からの交付金を受けて行う基金の積み増しに要する経費 (医療政策課)	
鳥取県型強度行動障がい者入居等支援事業	2百万円
障がい児施設等で待機している重度の強度行動障がい者へ新たに居住支援を行うために1:1相当の職員配置を行う社会福祉法人等に対し、市町村と協調して助成するのに要する経費 (障がい福祉課)	
SC鳥取出資事業	20百万円
ガイナレ鳥取のJリーグ昇格に向け、昇格条件の一つである運営会社の(株)SC鳥取の財務基盤強化のため、バードスタジアム国際交流基金の一部を取り崩して行う同社への出資に要する経費 (経済通商総室[企画調査室])	
食のみやこ直売ビジネス支援モデル事業	25百万円
農家の大きなビジネスチャンスとなっている直売所での農産物販売の動きを加速化し、新たなビジネスモデルとして構築するため、直売での販売額増を目指す農業者を市町村と協調して支援するのに要する経費 (生産振興課)	
ツキノワグマ接近警戒システム整備モデル事業	5百万円
(H23 債務負担行為 3百万円)	
放獣するツキノワグマに装着した電波発信器からの電波を関知し、その位置を特定して地域住民に情報を随時提供するシステムを構築するのに要する経費 (公園自然課)	
鳥取県緑の産業再生プロジェクト基金造成事業	118百万円
林業・木材産業の活性化を図るための間伐、路網整備、県産材加工施設整備等の事業に充当するため、国からの交付金を受けて行う基金の積み増しに要する経費 (森林・林業総室[県産材・林産物需要拡大室])	
鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業	118百万円
鳥取県緑の産業再生プロジェクト基金を活用して行う林内路網整備事業等の追加実施に要する経費 (森林・林業総室[県産材・林産物需要拡大室])	